

報道機関各位

2026年4月7日

**東京薬科大学×大妻中学高等学校 高大連携協定を締結  
～双方における教育内容の充実と生徒及び学生の資質向上を図る～**

「東京薬科大学（東京都八王子市 学長：三巻祥浩）」は、学校法人大妻学院が設置する「大妻中学高等学校（東京都千代田区 校長：赤塚宏子）」と、高大接続連携教育を推進し、「双方における教育内容の充実と生徒及び学生の資質向上を図る」ことを目的に、2026年3月23日（月）、東京薬科大学にて高大連携協定を締結しました。



（三巻祥浩学長、赤塚宏子校長）



東京薬科大学には、毎年、大妻中学高等学校から多くの生徒が入学しています。グローバル化の進展、科学技術の革新、国内における生産年齢人口の急減といった社会の変化に対応し、新たな価値を創造できる人材を育成することについて両者は合意しました。

本協定により、東京薬科大学の教員が大妻中学高等学校の教育プログラムに積極的に関わることで、生徒一人ひとりの才能や個性、可能性を最大限に引き出します。さらに、薬学・生命科学分野の優れた理系人材を社会に輩出するための協力体制を構築していきます。

事業内容は

- (1) 大学・中学高等学校双方への講師派遣
- (2) 大学・中学高等学校双方で実施する高大接続教育への支援
- (3) 大学・中学高等学校双方で実施する課外授業などにおける交流活動の実施
- (4) 大学・中学高等学校双方で実施するFD活動などにおける交流活動の実施
- (5) 中学高等学校の生徒の大学の大学院生との交流活動及び乙施設（図書館等）の利用
- (6) 中学高等学校の生徒の大学の授業および各種講座への受け入れ
- (7) 大学の教育・研究・社会貢献活動及び学生の教育実習などへの中学高等学校の支援
- (8) その他、大学・中学高等学校の協議の結果に基づく事業

## ■東京薬科大学 学長 三巻祥浩のコメント

この度、大妻中学高等学校様と高大連携協定を締結する運びとなりましたことを、大変光栄に存じます。

東京薬科大学は、1880年に創立された東京薬舗学校を前身とし、1963年に大学院修士課程を、その2年後には博士課程を設置しました。また、将来の医療分野における薬剤師の役割の重要性を見据え、1981年、全国に先駆けて医療薬学専攻の大学院を設置しました。

さらに、1994年には、薬学と密接に関連するバイオテクノロジー分野において将来を担う人材の育成を目的として、日本で初めて生命科学部を開設しました。

薬学部では、問題解決能力と臨床実践能力を兼ね備えた薬剤師の養成に加え、薬学分野における研究者、技術者の育成を教育目標としています。生命科学部は、生命科学分野で国際的に活躍できる研究者、技術者、実務者の育成を目指しています。

就職先については、薬学部は病院・薬局をはじめ製薬企業など多岐にわたり、近年は製薬・創薬分野への進路支援にも力を入れています。生命科学部では、半数以上が大学院修士課程へ進学し、専門性をさらに深めています。そのほか、医薬品、食品、化学、情報関連企業など幅広い分野へ進んでいます。

2022年度より高等学校において本格的に導入された探究学習において、本協定を契機に、中学生・高校生の皆様がより専門的かつ体系的な学びに触れる機会を提供できればと考えています。

## ■大妻中学高等学校 校長 赤塚宏子のコメント

この度、伝統ある東京薬科大学様と高大連携協定を締結させていただきますことは、本校にとって誠に名誉なことと考えております。

本校は1908年に開校した女子校でございます。近年理系を志す生徒がたいへん増えており、今年度卒業の3年生では45%、1・2年生では50%以上が志望しております。

本校の教育理念として「社会に貢献する自立した女性の育成」を掲げております。そのうえで、医療人教育において実績のある薬学部、トップレベルの研究力を誇る生命科学部を有する東京薬科大学様との連携で、本校の生徒たちが学ばせていただく機会が増えれば、より医学・薬学をはじめとした理系の分野を学び、進路先として志望する生徒のきっかけにもなると思います。

この高大連携協定を機に両校が益々の発展をいたしますことを祈念しております。

## 【お問い合わせ】

東京薬科大学 入試・広報センター  
〒191-0392 東京都八王子市堀之内 1432-1  
TEL:042-676-4921  
E-mail:[kouhouka@toyaku.ac.jp](mailto:kouhouka@toyaku.ac.jp)

大妻中学高等学校  
〒102-8357 東京都千代田区三番町 12 番地